

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料



2022年11月22日  
大建工業株式会社  
(証券コード：7905)

# 目次

## 1. 2023年3月期 第2四半期 業績

■ 2023年3月期 第2四半期 市場環境	4
■ 2023年3月期 第2四半期 業績	5
■ 2023年3月期 第2四半期 セグメント別業績	6
■ 2023年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績	7
■ 2023年3月期 第2四半期 市場別 売上実績	8
■ 2023年3月期 第2四半期 注力3市場 売上実績 セグメント別増減	9

## 2. 2023年3月期 通期 業績予想 (10/27修正予想)

■ 2023年3月期 業績予想	11
■ 2023年3月期 営業利益増減要因 予想	12
■ 2023年3月期 セグメント別 売上予想	13
■ 2023年3月期 市場別 売上予想	14
■ 2023年3月期 注力3市場 売上予想 セグメント別増減	15

## 3. 中期経営計画「GP25 3rd Stage」(2022~2025年度)

■ 中期経営計画「GP25 3rd Stage」の位置付け、基本方針、経営目標	17
■ 成長及び基盤強化のための投資、政策保有株式縮減の取り組み、目指すバランスシート	20
■ 株主還元方針・配当	23

## 4. 財務情報

■ 2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表	25
■ 2023年3月期 第2四半期 連結損益計算書	26
■ 2023年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書	27

**2023年3月期 第2四半期**

---

**業績**

# 2023年3月期 第2四半期 市場環境

## <国内住宅市場>

◆新築住宅、リフォーム市場向けの需要が堅調に推移するも、当社においては前期4Qに発生した建材事業の一部製品の納期遅延・受注制限による販売面の影響が残り、回復には至らず。加えて原材料価格の高騰に急激な円安が重なり厳しい状況が継続

### 国内新設住宅着工戸数

(単位：万戸)	1-6月						4-9月					
	2020年	増減率	2021年	増減率	2022年	増減率	2020年	増減率	2021年	増減率	2022年	増減率
新設住宅着工戸数	39.9	△11.2%	41.2	+3.3%	41.9	+1.6%	41.4	△11.3%	44.6	+7.6%	44.3	△0.7%
うち持家	12.4	△13.7%	13.4	+7.7%	12.3	△8.0%	13.1	△14.2%	14.9	+13.3%	13.2	△10.9%
うち賃貸	14.9	△10.8%	15.3	+2.6%	16.5	+7.5%	15.7	△10.8%	17.0	+8.6%	17.7	+4.3%
うち分譲戸建	6.7	△7.4%	6.8	+1.4%	7.2	+5.9%	6.4	△14.5%	7.2	+11.8%	7.4	+3.6%

## <公共・商業建築分野（非住宅分野）>

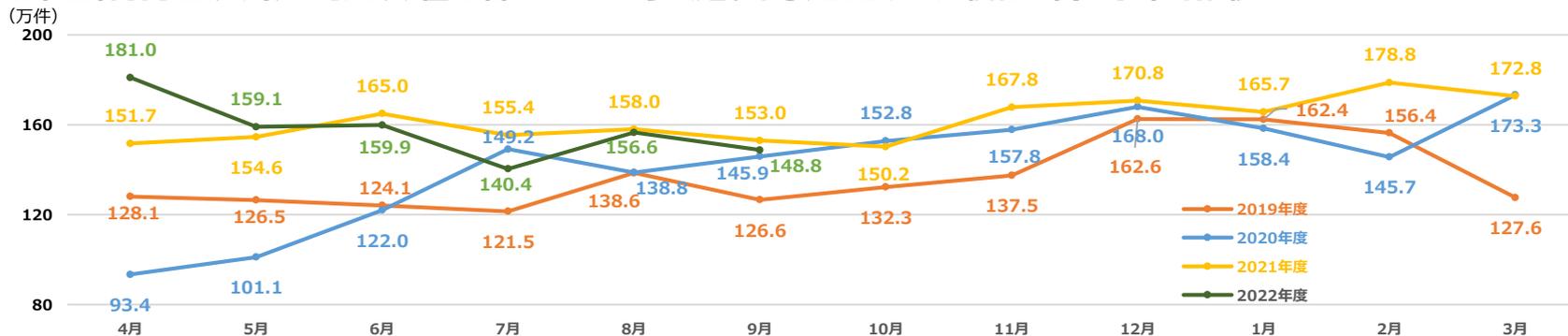
◆各種建設プロジェクトの再開により、オフィスビル等の内装工事の需要が回復

## <MDF市況>

◆国内同様に各種コストアップによる影響が続く中、米国を中心とした海外での家具・建材用途の需要増や南洋材合板の調達難に伴う代替需要による引き合いが強い状況が継続

## <米国住宅市場>

◆政策金利引き上げの影響を受け、住宅着工は5月から減速するも、LVLの販売価格は高い水準で推移



# 2023年3月期 第2四半期 業績

**売上高** 前期4Qに発生した建材事業の納期遅延・受注制限の影響による販売減あるも、国内外でのMDF、米国でのLVLの販売価格の上昇に、円安効果も加わり増収

**営業利益** 米国でのLVLの販売価格が高水準で推移する中、建材事業での減収に伴う利益減や原材料等のコストアップに対し、合理化・コストダウンや売価転嫁を進めたものの、吸収するには至らず減益

**経常利益  
純利益** 米国PWT社の事業拡大後の損益を持分法投資利益7億円を営業外収益に計上したこと、また、PWT社の異動に伴う持分変動利益41億円を特別利益に計上したことから増益

(単位：百万円)	'21/3期2Q (実績)	'22/3期2Q (実績)	'23/3期2Q (実績)	前年同期比		'23/3期2Q (6/22予想)	進捗率 (対6/22予想)
				増減額	増減率		
売上高	92,671	109,002	120,263	+11,261	+10.3%	111,000	108.3%
営業利益	2,857	8,736	8,297	△438	△5.0%	6,800	122.0%
営業利益率	3.1%	8.0%	6.9%	△1.1pt	-	6.1%	-
経常利益	3,371	9,399	9,928	+529	+5.6%	7,400	134.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,986	4,935	7,771	+2,836	+57.5%	6,400	121.4%
1株当たり 四半期純利益 (円)	76.29円	189.45円	298.17円	+108.72円	-	245.61円	-

# 2023年3月期 第2四半期 セグメント別業績

**素材事業** 国内外でのMDF、米国でのLVL販売価格の上昇により増収。米国でLVLの販売価格が高水準で推移したこと、原材料等のコストアップに対し、売価転嫁を進めたことにより増益

**建材事業** 前期4Qに発生した納期遅延・受注制限の影響により減収。減収影響に加え、原材料等のコストアップに対し、4月出荷分よりカタログ価格を改定するなど、売価転嫁を進めるも、吸収するには至らず営業損失

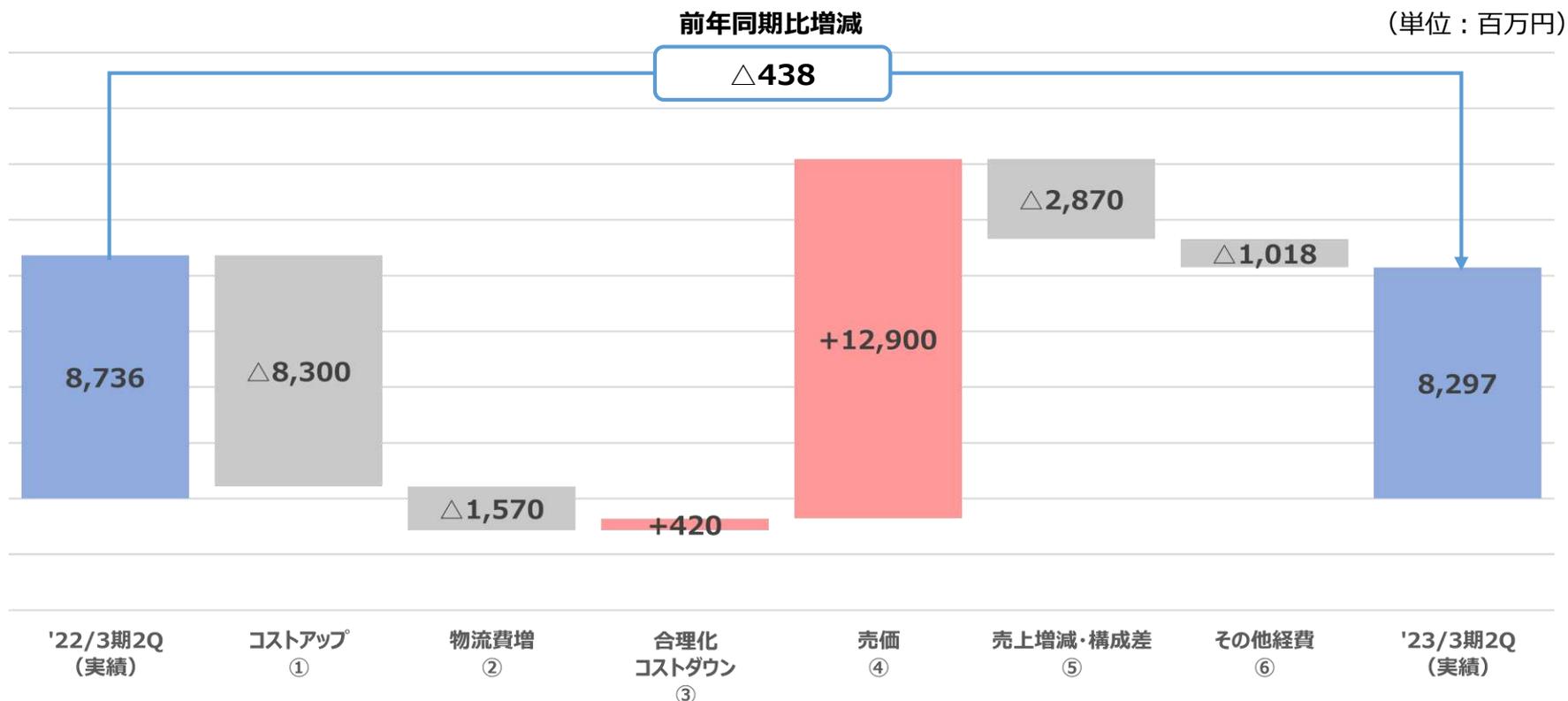
**エンジニアリング事業** オフィスビル等の内装工事の需要回復や、首都圏でのマンションリノベーションが堅調に推移したことなどにより増収となるも、建設資材や労務費の上昇などにより減益

(単位：百万円)	'21/3期2Q (実績)		'22/3期2Q (実績)		'23/3期2Q (実績)					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
						増減額	増減率		増減額	増減率
素材事業	36,660	889	47,684	6,392	58,571	+10,886	+22.8%	10,255	+3,862	+60.4%
建材事業	42,309	1,497	46,602	3,371	43,377	△3,224	△6.9%	△561	△3,933	-
エンジニアリング事業	9,415	253	9,997	391	11,996	+1,998	+20.0%	172	△219	△55.9%
その他	4,285	217	4,717	306	6,318	+1,600	+33.9%	490	+183	+60.0%
調整額※	-	-	-	△1,726	-	-	-	△2,058	△332	-
合計	92,671	2,857	109,002	8,736	120,263	+11,261	+10.3%	8,297	△438	△5.0%

※'23/3期1Qより、各セグメントの業績をより適切に評価するため、本社等の一般管理部門に係る費用のうち、報告セグメントに直接関連するものは各報告セグメントに配賦し、直接関連しないものについては、全社費用として計上する方法に変更しています。なお'22/3期2Qの数値は変更後に組み替えた数値で表記、'21/3期2Qの数値は変更前の表記です。

# 2023年3月期 第2四半期 営業利益増減要因 実績

- |             |  |
|-------------|--|
| ①コストアップ     | 木質原料、接着剤等の石化製品の価格上昇                            |
| ②物流費増       | 世界的な海上輸送の混乱に伴う海運コストの上昇                         |
| ③合理化・コストダウン | 各種購買品の見直し、海外でのエネルギーコストの低減                      |
| ④売価         | 米国の木材製品の市況価格が高水準で推移。原材料価格の高騰に対し、MDF、国内で売価転嫁を実施 |
| ⑤売上増減・構成差   | 前期4Qの納期遅延・受注制限による販売減、8月以降のPWT社異動に伴う売上減の影響      |
| ⑥その他経費      | 販売促進フェア開催、人材投資・処遇改善等による経費増                     |

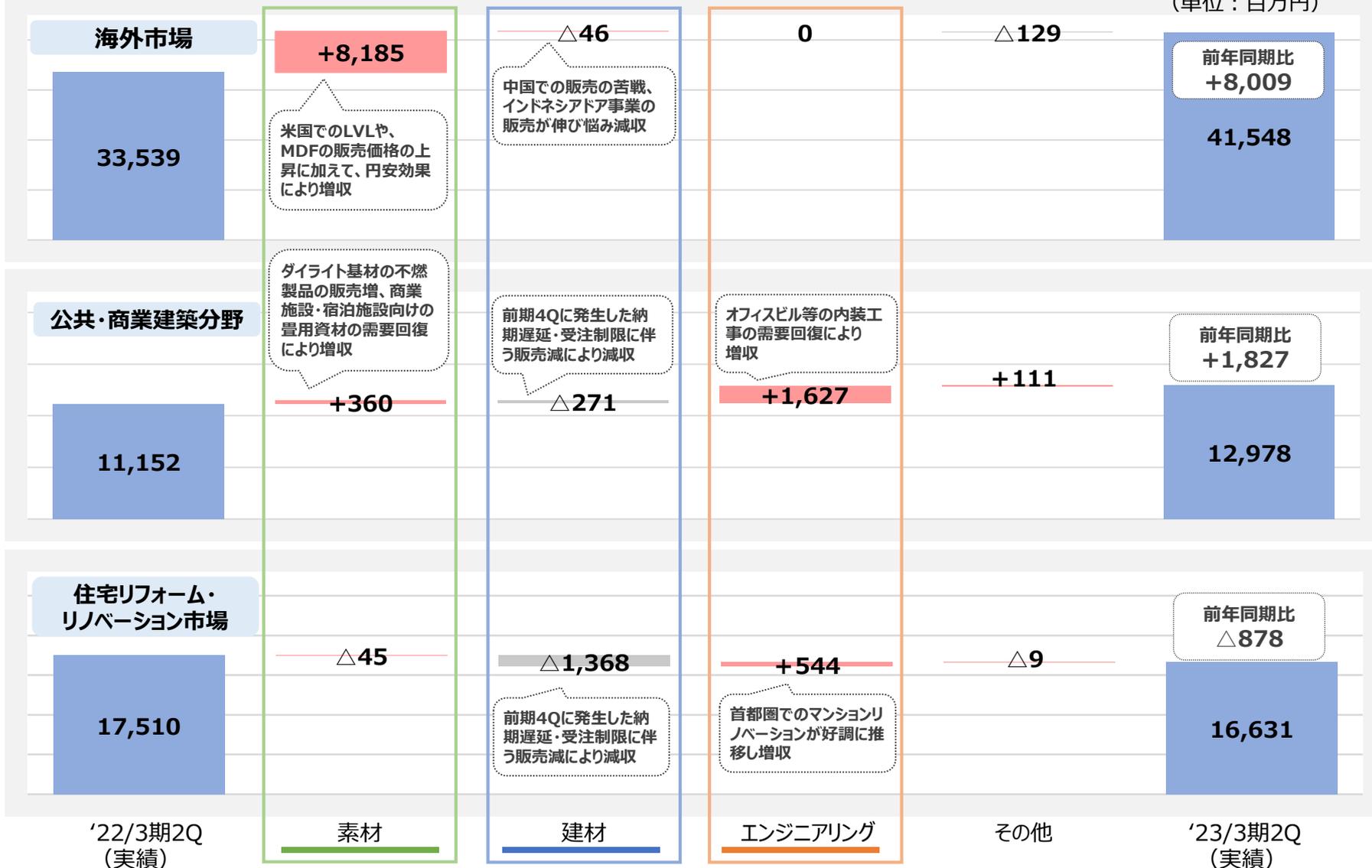


# 2023年3月期 第2四半期 市場別 売上実績

(単位：百万円) 上段：売上高、下段：構成比	'21/3期2Q (実績)	'22/3期2Q (実績)	'23/3期2Q (実績)	前年同期比	
				増減額	増減率
海外市場	19,593	33,539	<b>41,548</b>	<b>+8,009</b>	<b>+23.9%</b>
	21.1%	30.8%	34.5%	+3.7pt	-
公共・商業建築分野	10,897	11,152	<b>12,978</b>	<b>+1,827</b>	<b>+16.4%</b>
	11.8%	10.2%	10.8%	+0.6pt	-
産業資材分野	12,201	9,383	13,165	+3,782	+40.3%
	13.2%	8.6%	10.9%	+2.3pt	-
住宅リフォーム・ リノベーション市場	14,270	17,510	<b>16,631</b>	<b>△878</b>	<b>△5.0%</b>
	15.4%	16.1%	13.8%	△2.3pt	-
国内新築住宅市場	35,502	36,991	35,622	△1,367	△3.7%
	38.3%	33.9%	29.6%	△4.3pt	-
その他	209	428	316	△110	△25.9%
	0.2%	0.4%	0.3%	△0.1pt	-
国内市場	73,078	75,463	78,715	+3,252	+4.3%
	78.9%	69.2%	65.5%	△3.7pt	-
合計	92,671	109,002	120,263	+11,261	+10.3%
	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

# 2023年3月期 第2四半期 注力3市場 売上実績 セグメント別増減

(単位：百万円)



# 2023年3月期 通期 業績予想

---

(10/27修正予想)

# 2023年3月期 業績予想 (10/27修正予想)

米国では、木材製品の市況価格が軟化傾向にあるものの、引き続き想定よりも高い水準で推移することが見込まれる一方、国内では資源価格の高騰に、急激な為替変動も加わり、想定を上回る勢いで原材料価格が上昇していることから、その傾向が第3四半期以降も続くことを前提として見通しを算定

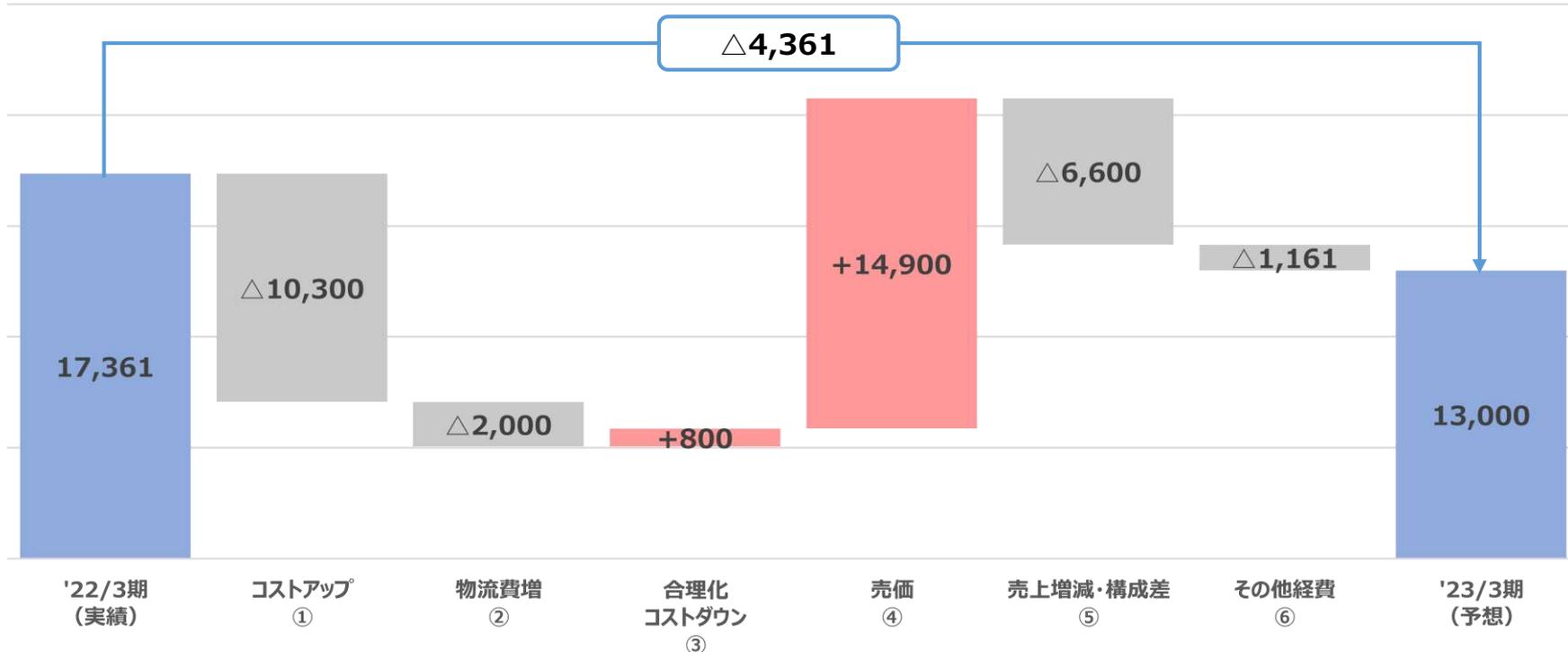
(単位：百万円)	'21/3期 (実績)	'22/3期 (実績)	'23/3期 (6/22予想)	'23/3期 (10/27予想) [修正額]	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	199,210	223,377	221,000	234,000 [+13,000]	+10,622	+4.8%
営業利益	8,779	17,361	12,500	13,000 [+500]	△4,361	△25.1%
営業利益率	4.4%	7.8%	5.7%	5.6% [△0.1pt]	△2.2pt	-
経常利益	9,935	18,725	14,000	15,500 [+1,500]	△3,225	△17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,620	7,872	10,000	11,000 [+1,000]	+3,127	+39.7%
1株当たり 当期純利益(円)	215.83円	302.18円	383.77円	421.97円	+119.79円	-
配当金(円)	年間：70円 中間：30円 期末：40円	年間：100円 中間：45円 期末：55円	年間：100円 中間：50円 期末：50円 ※中間・期末配当うち 各10円は特別配当	年間：110円 中間：50円 期末：60円 [10円増配]	年間：+10円 中間：±0円 期末：+10円	-
配当性向(%)	32.4%	33.1%	26.1% 一過性除 32.6%	26.1% 一過性除 41.6%	△7.0pt +8.5pt	-
ROE(%)	9.1%	10.9%	-	13.6% 一過性除 8.7%	+2.7pt △2.2pt	-

# 2023年3月期 営業利益増減要因 予想 (10/27修正予想)

- ①コストアップ 木質原料、接着剤等の石化製品の価格上昇
- ②物流費増 世界的な海上輸送の混乱に伴う海運コストの上昇
- ③合理化・コストダウン 各種購買品の見直し等
- ④売価 国内、MDFで原材料価格の上昇に対し、売価転嫁を想定。また、期初予想では下半期以降、米国の木材製品の市況価格が調整局面に入ることを想定するも、PWT社異動に伴い、本影響が縮小すると見込む
- ⑤売上増減・構成差 前期4Qの納期遅延・受注制限による上半期を中心とした販売減、PWT社異動に伴う売上減の影響
- ⑥その他経費 販売促進フェア開催、人財投資・処遇改善等による経費増

前年同期比増減

(単位：百万円)



# 2023年3月期 セグメント別 売上予想 (10/27修正予想)

**素材事業** 米国での金利上昇による需要への影響、木材製品の市況価格が調整局面に入ることが想定されるも、2Qの上振れ分を踏まえ、6/22予想から115億円の増額。前年同期比1.4%増収の見通し

**建材事業** 想定を上回る原材料価格上昇に対する追加の売価転嫁を見込むも、前期4Qに発生した納期遅延・受注制限による販売減の影響を踏まえ、6/22予想から8億円の減額。前年同期比3.0%増収の見通し

**エンジニアリング事業** 首都圏でのマンションリノベーションの堅調さに加え、内装工事の需要回復が見込まれることから、前年同期比23.4%増収の期初予想を据え置き

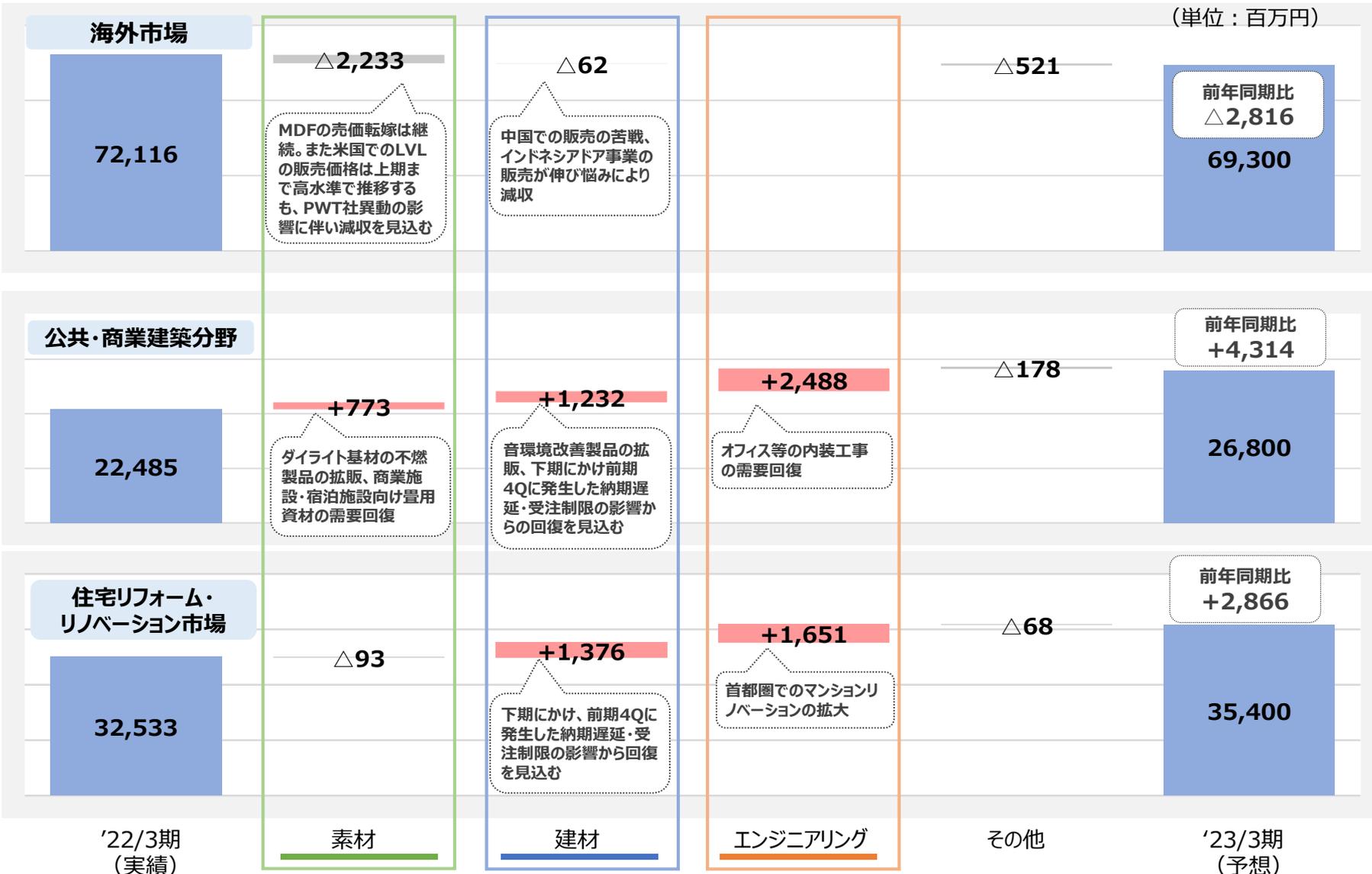
(単位：百万円)	'21/3期 (実績)	'22/3期 (実績)	'23/3期 (6/22予想)	'23/3期 (10/27予想) [修正額]	前年同期比	
					増減額	増減率
素材事業	80,692	100,177	90,100	101,600 [+11,500]	+1,422	+1.4%
建材事業	88,697	91,907	95,500	94,700 [△800]	+2,792	+3.0%
エンジニアリング事業	20,542	20,264	25,000	25,000	+4,735	+23.4%
その他	9,277	11,028	10,400	12,700 [+2,300]	+1,671	+15.2%
合計	199,210	223,377	221,000	234,000 [+13,000]	+10,622	+4.8%

# 2023年3月期 市場別 売上予想 (10/27修正予想)

(単位：百万円) 上段：売上高、下段：構成比	'21/3期 (実績)	'22/3期 (実績)	'23/3期 (6/22予想)	'23/3期 (10/27予想) [修正額]	前年同期比	
					増減額	増減率
海外市場	46,254	72,116	60,500	<b>69,300</b> [+8,800]	<b>△2,816</b>	<b>△3.9%</b>
	23.2%	32.3%	27.4%	29.6%	△2.7pt	-
公共・商業建築分野	23,709	22,485	26,800	<b>26,800</b>	<b>+4,314</b>	<b>+19.2%</b>
	11.9%	10.1%	12.1%	11.5%	+1.4pt	-
産業資材分野	24,622	19,985	20,700	24,600 [+3,900]	+4,614	+23.1%
	12.4%	8.9%	9.4%	10.5%	+1.6pt	-
住宅リフォーム・ リノベーション市場	31,266	32,533	35,200	<b>35,400</b> [+200]	<b>+2,866</b>	<b>+8.8%</b>
	15.7%	14.6%	15.9%	15.1%	+0.5pt	-
国内新築住宅市場	73,008	75,667	77,800	77,900 [+100]	+2,232	+3.0%
	36.6%	33.9%	35.2%	33.3%	△0.6pt	-
その他	351	588	0	0	<b>△588</b>	-
	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	△0.3pt	-
国内市場	152,956	151,261	160,500	164,700 [+4,200]	+13,438	+8.9%
	76.8%	67.7%	72.6%	70.4%	+2.7pt	-
合計	199,210	223,377	221,000	234,000 [+13,000]	+10,622	+4.8%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-

# 2023年3月期 注力3市場 売上予想 セグメント別増減 (10/27修正予想)

(単位：百万円)



# 中期経営計画「GP25 3rd Stage」 (2022~2025年度)

---

# 中期経営計画「GP25 3rd Stage」の位置付け

2025年 長期ビジョン「GP25」  
実現に向けて

2022～2025年度

GP25 3rd Stage

「建築資材の総合企業」としての姿を確立する

サステナビリティを経営の軸として、  
事業を通じた社会課題解決の追求をもとに成長戦略を実行し、  
「建築資材の総合企業」としての姿を確立する

2019～2021年度

GP25 2nd Stage

「建築資材の総合企業」に向け成長戦略を加速させる

2016～2018年度

GP25 1st Stage

「建築資材の総合企業」への第一歩を踏み出す

# 基本方針

## I. 成長戦略の実行 ～社会課題解決の鍵(CSV)～

### 循環型社会への貢献

循環管理された木材資源・廃棄物を活用した素材の開発、用途開拓によりグローバル市場への展開を加速させる

### ニューノーマル時代のユーザーニーズの充足

あらゆる空間において、より高まった安全・安心・健康・快適を求めるユーザーニーズに対し、多様な製品(素材・建材)、空間評価・分析機能、施工機能を有する強みを活かしたソリューション提案力を強化する

## II. サステナビリティを軸とした経営基盤の強化

### 人財基盤

- 多様な人財が活躍できる職場環境・風土づくり
- 成長を支え、変化に対応できる人財育成
- 挑戦を称賛、支える制度・仕組みの確立
- バランスの取れた人財基盤の構築

### 事業基盤

- サプライチェーンにおける環境負荷低減とリスクマネジメントの両立
- 強く柔軟な事業インフラの再構築
- 事業ポートフォリオの最適化(選択と集中)
- 提供価値の根源である品質の徹底
- 攻め/守りのデジタル戦略
- 効率的、最適な物流体制の構築

### 財務基盤

- 成長のための積極的な投資
- 成長を支える強固な財務基盤の構築

### ガバナンス

- 企業価値の向上を支える公正で透明性の高い経営
- 情報発信の強化と対話の充実によるステークホルダーエンゲージメントの向上

# 経営目標

## I. 成長戦略の実行

(億円)

	ベンチマーク 2015年度 実績	GP25 1st Stage 2018年度 実績	GP25 2nd Stage 2021年度 実績	GP25 3rd Stage 2025年度 目標	増減	
					2nd Stage実績比	PWT社異動影響除く場合
売上高	1,681	1,829	2,233	2,500	+266	+478
国内市場	1,579	1,637	1,512	1,835	+322	+322
海外市場	102	192	721	665	△56	+156
営業利益	55	57	173	150	△23	+37
営業利益率	3.3%	3.1%	7.8%	6%	△1.8pt	+0.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	44	78	100	+21	+21

## II. 経営基盤の強化

### 財務

		2025年度目標
資本効率性	ROE	10%以上
	ROIC	8%以上
財務健全性	自己資本比率	40%以上
	D/E レシオ	0.5 倍以下
株主還元	配当性向	35%
	DOE(自己資本配当率)	3.5%

### 非財務

		2025年度目標
E	温室効果ガス国内外総排出量 <sup>※1</sup>	△10%
	ダイバーシティ総合指数 3rd Stage <sup>※2</sup>	+30pt
S	品質に関する重大事故・違反 <sup>※3</sup>	0 件
	従業員満足度 <sup>※4</sup>	60pt
G	重大コンプライアンス違反 <sup>※3</sup>	0 件

※1 Scope1+2 2021年度比 ※2 女性管理職比率などダイバーシティ関連項目を指数化した当社独自指標 2021年度比。2022年度からの中期経営計画[GP25 3rd Stage]より「ダイバーシティ総合指数3rd Stage」として、算出方法に係る7項目を再設定。

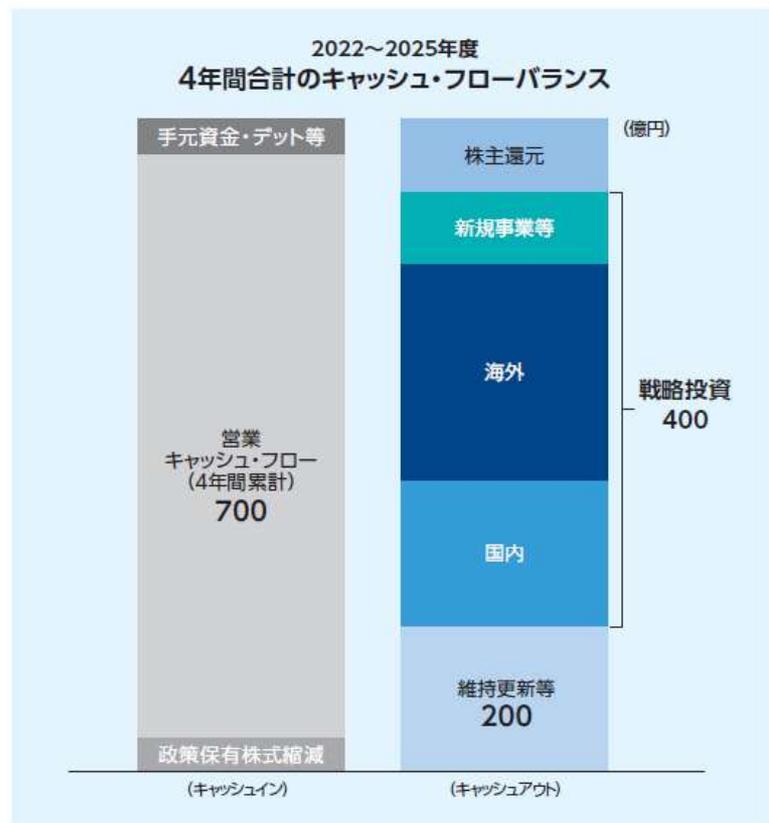
※3 中期経営計画期間中 ※4 従業員のやりがい、職場の働きやすさなどを評価軸とした調査に基づく当社独自指標。

# 成長及び基盤強化のための投資

GP25 3rd Stage(2022~2025年度)

## 中期経営計画(4年間)の目標

- 長期ビジョン「GP25」実現に向けた成長のため、リスクとリターン、資本コストを考慮した積極的な投資スタンスを継続
- 成長戦略・基盤強化のための積極投資、財務の健全性、株主還元の充実の最適化を図るキャッシュアロケーションを実施



## 主な戦略投資の概要

### 共通

- 研究開発体制の強化 (新素材開発、空間環境測定)
- M&Aを含めた新たな事業領域への進出
- 事業活動における環境負荷低減

### 海外

- 高需要地への供給・販売体制拡充
- 新たな素材の開発と新市場・エリアへの進出

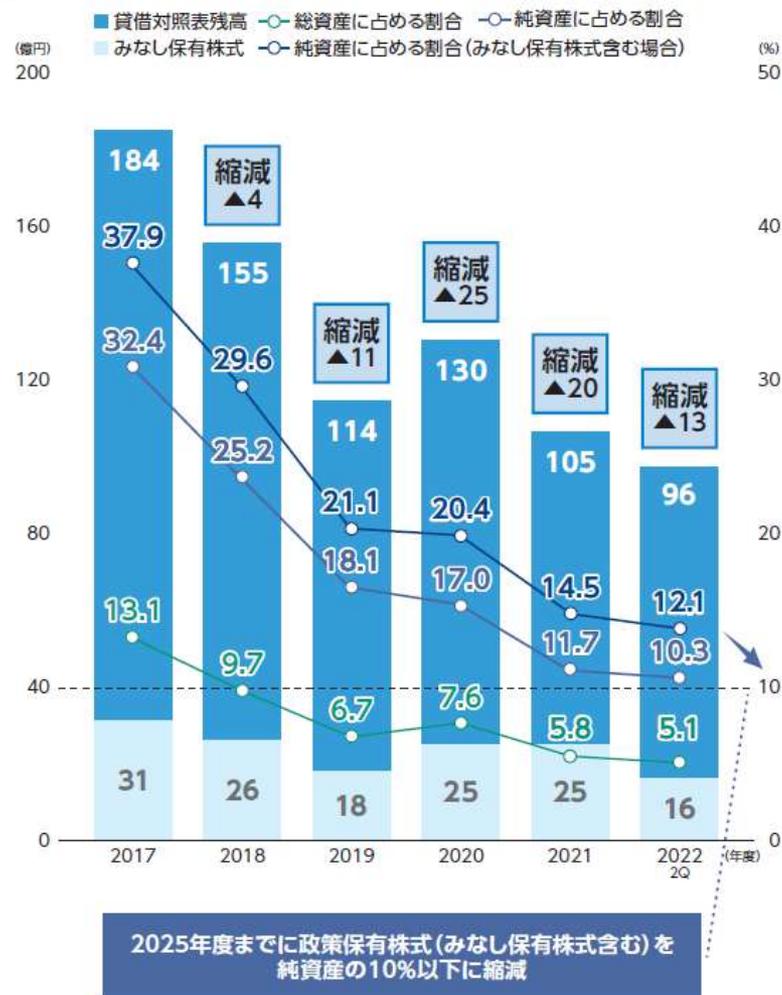
### 国内

- 需要に合わせた製品供給網の再構築
- 空間性能を高める材工受注体制の強化
- 受発注システムの刷新、業務効率化

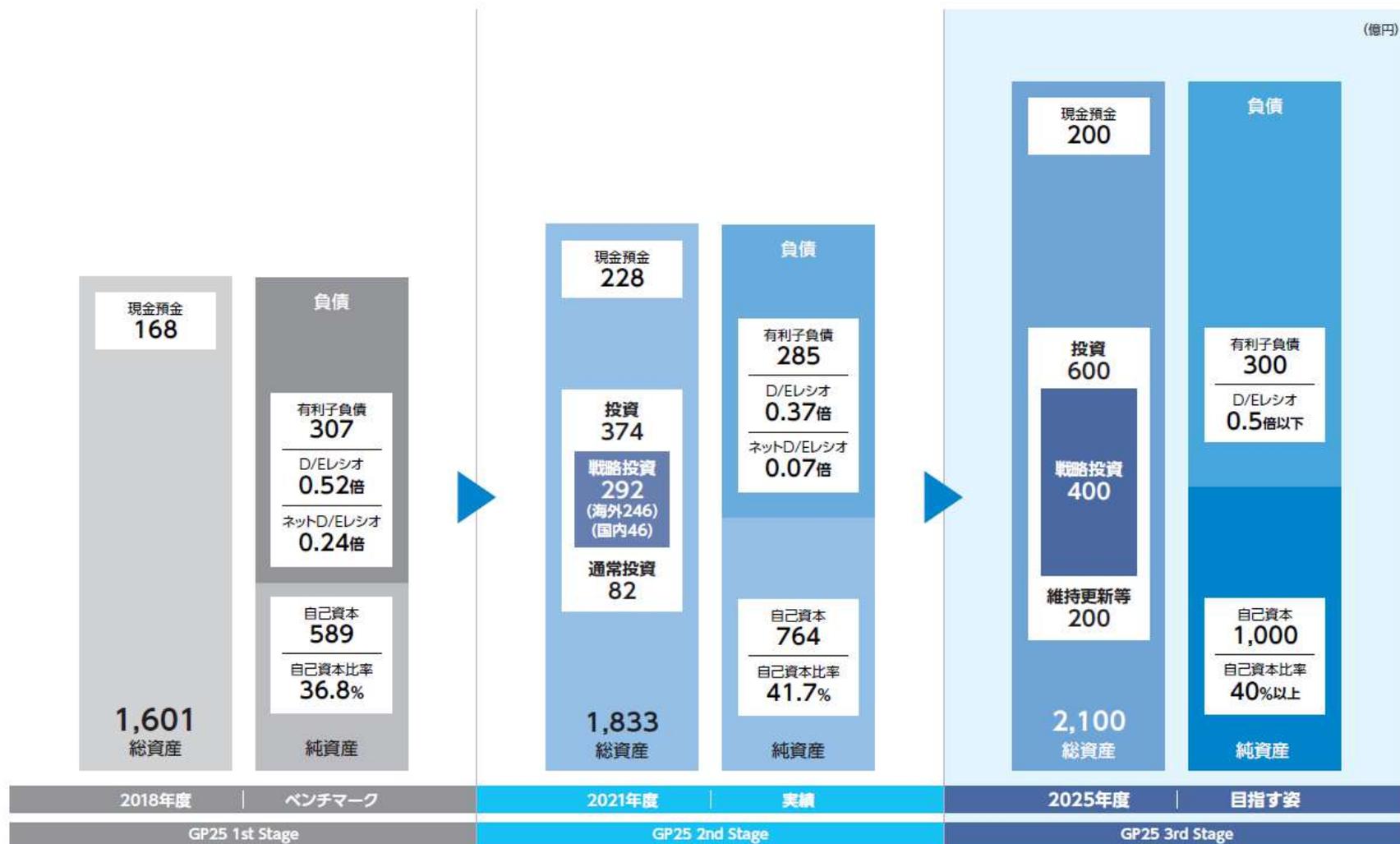
# 政策保有株式縮減の取り組み

## 政策保有株式推移

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 2Q
貸借対照表 残高	上場	183	154	112	129	104	94
	非上場	1	1	1	1	1	1
	合計	184	155	114	130	105	96
みなし保有株式		31	26	18	25	25	16
貸借対照表残高 及び みなし保有株式 合計		216	182	133	156	131	112
売却額		0	△4	△11	△25	△20	△13
取得額		0	0	0	0	0	0
縮減		0	△4	△11	△25	△19	△13
銘柄数	上場	25	24	19	18	17	17
	非上場	25	24	24	22	23	24
	みなし保有株式	3	3	3	2	2	2
	合計	53	51	46	42	42	43
	減少	0	△2	△6	△4	△1	0
	増加	1	0	1	0	1	1
	縮減	1	△2	△5	△4	0	0
総資産		1,407	1,601	1,706	1,725	1,833	1,869
総資産に占める割合		13.1%	9.7%	6.7%	7.6%	5.8%	5.1%
純資産		569	617	629	767	905	937
純資産に占める割合		32.4%	25.2%	18.1%	17.0%	11.7%	10.3%
純資産に占める割合 (みなし保有株式含む場合)		37.9%	29.6%	21.1%	20.4%	14.5%	12.1%



# 目指すバランスシート



# 株主還元方針・配当

## 中期経営計画「GP25 3rd Stage」の株主還元方針

- 中期経営計画「GP25 3rd Stage」(2022~2025年度)の4年間における株主還元は、業績に連動した利益還元の充実と、短期的な利益変動に左右されにくい安定的な配当の維持を重視し、配当性向35%およびDOE(自己資本配当率)3.5%を目標とした配当を実施します

### 配当金・配当性向・DOE(自己資本配当率)推移



# 財務情報

---

# 2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'21/3期 (実績)	'22/3期 (実績)	'23/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
現金預金	17,433	22,881	20,369	△2,512
売上債権	38,454	40,318	46,637	+6,319
棚卸資産	29,525	34,487	34,507	+20
その他の流動資産	2,333	4,597	4,110	△487
流動資産合計	87,748	102,286	105,627	+3,341
<b>有形固定資産</b>	<b>50,915</b>	<b>49,451</b>	<b>41,145</b>	<b>△8,306</b>
無形固定資産	15,002	14,972	14,467	△505
投資その他の資産	18,835	16,654	25,724	+9,070
<b>資産合計</b>	<b>172,553</b>	<b>183,391</b>	<b>186,980</b>	<b>+3,588</b>
仕入債務	23,435	27,650	29,586	+1,936
有利子負債	35,508	28,500	28,435	△65
その他の流動・固定負債	36,838	36,678	35,235	△1,443
負債合計	95,781	92,828	93,256	+428
株主資本合計	60,877	66,395	72,759	+6,364
<b>純資産合計</b>	<b>76,771</b>	<b>90,563</b>	<b>93,723</b>	<b>+3,160</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>172,553</b>	<b>183,391</b>	<b>186,980</b>	<b>+3,588</b>
自己資本	68,043	76,487	83,599	+7,112
自己資本比率	39.4%	41.7%	44.7%	+3.0pt
D/Eレシオ (倍)	0.52	0.37	0.34	△0.03

◆有形固定資産 **△8,306**  
 <主な要因>  
 PWT社異動影響 **△8,374**  
 減価償却費 **△2,407**  
 取得・建設仮勘定 **+1,672**  
 為替変動他 **+803**

◆投資その他の資産 **+9,070**  
 <主な要因>  
 投資有価証券増 **+8,724**  
 ※うちPWT社異動影響 **+9,673**

◆純資産合計 **+3,160**  
 <主な要因>  
 利益剰余金増 **+6,338**  
 為替換算調整勘定 **+1,992**  
 非支配株主持分 **△3,951**  
 繰延ヘッジ損益 **△596**  
 その他有価証券評価差額金 **△559**

# 2023年3月期 第2四半期 連結損益計算書 (営業外収支、特別損益等 補足説明)

(単位：百万円)	'21/3期2Q (実績)	'22/3期2Q (実績)	'23/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
売上高	92,671	109,002	120,263	+11,261
売上総利益	23,169	30,523	33,839	+3,315
販売費及び一般管理費	20,311	21,786	25,541	+3,754
営業利益	2,857	8,736	8,297	△438
営業外収支	+514	+664	<b>+1,631</b>	<b>+967</b>
経常利益	3,371	9,399	<b>9,928</b>	<b>+529</b>
特別損益	+235	+958	<b>+4,389</b>	<b>+3,431</b>
税金等調整前四半期純利益	3,607	10,357	14,317	+3,960
法人税等合計	1,025	3,103	2,817	△285
四半期純利益	2,581	7,253	11,499	+4,245
非支配株主に帰属する 四半期純利益	595	2,318	3,728	+1,409
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,986	4,935	<b>7,771</b>	<b>+2,836</b>

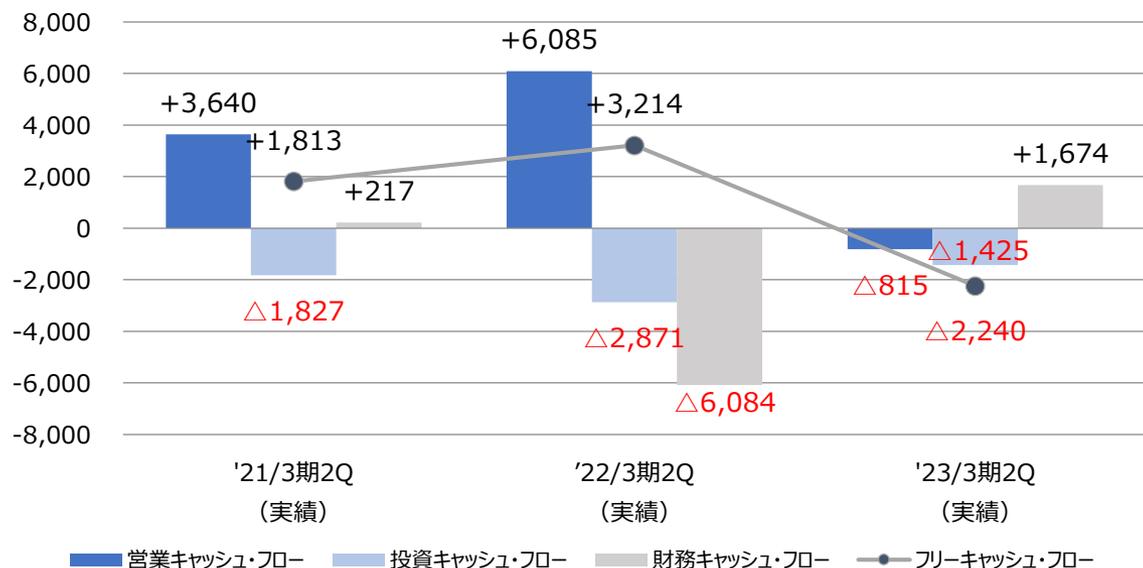
<b>◆営業外収支</b>	<b>+967</b>
＜主な要因＞	
持分法による投資利益	+715
為替差損益	+202
受取利息増	+96
受取配当金増	+21
支払利息減	+19
排出権収入	△157

<b>◆特別損益</b>	<b>+4,389</b>
＜主な要因＞	
持分変動利益	+4,104
投資有価証券売却益	+368
固定資産売却益	+122
固定資産除却損	△98
災害による損失	△55

期中平均 為替レート (円)	'21/3期2Q (実績)	'22/3期2Q (実績)	'23/3期2Q (実績)	前年同期比 増減
USD	106.82	109.76	139.00	+29.24
CAD	78.62	88.20	103.73	+15.53
NZD	68.32	77.63	84.48	+6.85
MYR	25.06	26.35	30.31	+3.96

# 2023年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書 (主な増減要因)

(単位：百万円)	'21/3期2Q (実績)	'22/3期2Q (実績)	'23/3期2Q (実績)
営業キャッシュ・フロー	+3,640	+6,085	<b>△815</b>
投資キャッシュ・フロー	<b>△1,827</b>	<b>△2,871</b>	<b>△1,425</b>
フリーキャッシュ・フロー	+1,813	+3,214	<b>△2,240</b>
財務キャッシュ・フロー	+217	<b>△6,084</b>	<b>+1,674</b>
現金及び現金同等物の 四半期末残高	19,011	14,546	<b>14,638</b>
設備投資額	1,571	1,277	2,391
減価償却費	2,744	2,800	2,725



◆営業キャッシュ・フロー **△815**

<主な要因>

税金等調整前四半期純利益	+14,317
持分変動利益	<b>△4,104</b>
投資有価証券売却損益	<b>△368</b>
減価償却費	+2,725
のれん償却額	+929
持分法による投資損益	<b>△736</b>
売上債権・仕入債務増減	<b>△5,707</b>
棚卸資産増減	<b>△4,405</b>
法人税等の支払額	<b>△3,098</b>

◆投資キャッシュ・フロー **△1,425**

<主な要因>

有形固定資産の取得	<b>△1,584</b>
その他投資	<b>△1,130</b>
有形固定資産売却	+608
投資有価証券売却	+538
定期預金増	+155

◆財務キャッシュ・フロー **+1,674**

<主な要因>

社債償還による支出	<b>△5,000</b>
長短借入金増	+13,197
配当金の支払額	<b>△1,433</b>
配当金の支払額 (非支配)	<b>△5,031</b>

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

本資料は情報提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。  
本資料（業績予想を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。  
ご利用に関してはご自身の判断にてお願い致します。  
本資料に掲載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に対しても当社は責任を負いません。